



クロスワード



新企画です。秋の夜長に脳トレは如何ですか？今回は出来るだけ仏教用語で作りました。
ご意見・ご感想お待ちしております。（作者 英雄）

1		2	3	4		5
		6			7	
8	9			10		
11			12		13	
	14			15		
16			17			18
19						

タテのカギ

1. 仏・法・僧の事。
聖徳太子は篤くこれを敬えと言われました。
2. 性格のこと。
3. これの無い世界を目指します。
4. 仏壇にお祀りします。
5. 一年ごと
7. 生前を偲び、悼みます。
9. 罪を悔い、仏前に許しを請う作法の際唱える言葉。
12. サポーターの一種。
15. 銀行に預けたお金
16. 最近は忙しく〇〇多端な日々です。
18. ヒマラヤの山 8167m!! 〇〇ラギリ。

ヨコのカギ

1. 仏・法・僧に帰依します。
6. 仏教でいうこの世の苦しみ。
8. 悟りを求めて修行する。
10. フェイスブックでよく見ます。
11. これを味方につけると強いですね。
13. 仏教でいう煩惱、三毒の一つ。〇〇・ジン・チ。
14. 西遊記で有名な三蔵法師。般若心経も漢訳しました。
16. 魚を入れる網。
17. NHK朝の連続ドラマ『あまちゃん』の主人公 天野〇〇。
19. 日本書紀。建国の天皇。

ピンク色のついたマスの文字を組み合わせ
て6文字の言葉を作ってみてください。
正解がわかった方はスタッフまでこっそり
教えて下さいね。
(特に景品の準備はありませんが…。)

編集後記

■2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。
みなさま7年後は何歳になっていますか？健康に気をつけて、お祭り騒ぎ
だけでなく地に足をつけて毎日を大切に過ごしていきたいと思ひます。
おもてなしの心が世界中に満たされますように祈りつつ。
■新企画クロスワードパズルは如何でしたか？
パズルブームに便乗して企画しましたが、作るのは大変でした。
色々なアイデアをお気軽にお話し下さい。待っています。



やすらぎ通信

平成 25 年 秋彼岸

発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町堀谷 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp

◇永代供養墓『善光寺やすらぎの碑』のご案内

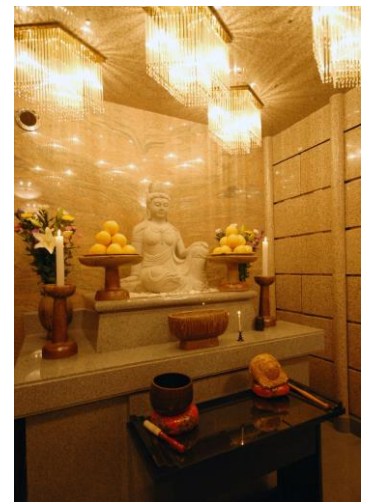
いつもお墓参りのお花がたくさん手向けられている永代供養墓「善光寺やすらぎの碑」。
お気軽にお問合せ下さい。詳細はホームページでも公開しています。

<http://y-yasuraginosato.jp>



↑お盆の頃です～供養の花がいっぱい～

納骨室内、一葉観音→



◇やすらぎ寺子屋のご案内

椅子坐禅指導と修証義についてのお話です。

週末のひと時、仏教に親しむ時間を如何ですか？

宗教・宗派不問です。 詳細はお気軽にお問合せ下さい。

第 30 回 10 月 12 日 (土)

第 31 回 11 月 3 日 (日)

第 32 回 12 月 1 日 (日) 好評につき来年も計画しています。

午後 2 時～ 1 時間程 参加費無料 於 管理棟 2 階

◇善光寺講座 ～『論語』からのおはなし～

講師 東郷 敏 先生

東郷敏先生が軽快なユーモアを交え、日常の生活に活用できる生き生きとした『論語』の世界へと誘います。老若男女問いません。是非ご参加下さい。

第 10 回 10 月 14 日 (月・祝日)

第 11 回 11 月 10 日 (日)

第 12 回 12 月 8 日 (日)

午後 3 時～ 1 時間程 参加費無料

於 善光寺客殿 (港南区日野中央)

好評につき来年も行います。

子曰く、学^{まな}びて時^{とき}に之^{これ}を習^{なら}ふ、
亦^{また}、説^{まこと}ばしからずや
朋^{とも}、遠^{えん}方^{ほう}自^より来^{きた}る有^あり、
亦^{また}、楽^{たの}しからずや
人^{ひと}知^しらずして慍^{いん}らず、
亦^{また}、君^{くん}子^しならずや
『論語』学而第一

ひがん ぼだい たね ま ひ 《きょう彼岸、菩提の種を蒔く日かな》

相田みつをさんの詩に『たね』という詩があります。

仏教では因果を説き、ご縁を大切にします。

因果とは原因と結果。その間には様々な条件が存在します。それを私たちはご縁といいます。

ある一粒の種。その種を土に蒔き、陽にあて、水をやる。やがて芽が出てすくすく育ち、花を咲かせます。種がある花が咲く。お釈迦さまは

「これ、あれば、かれあり、これ生ずるが故にかれ生ず

これ、なければ、かれなし、これ滅するが故にかれ滅す。」

と示され、すべてがつながった存在であると説かれます。

これとかれ(因と果)との間にある条件が縁。太陽や水や土。これらのご縁。目に見える縁、見えない縁。縁は意識するしないにかかわらず、私たちをつなげています。それはあたかも縦横無尽に張り巡らされた糸が一枚の布を織り上げるように、様々な縁が私たちをかたち創ってくれているのではないのでしょうか。時の流れに沿う『縦の糸』。今をつながる『横の糸』。

頂いているご縁、その元になる種の部分(因)にしっかり心に向けることを恩と言います。(因に心で恩)。あなたの恩人は誰ですか？ 今日まで自分を育ててくれたすべてのご縁に感謝。

たね
種子さえ蒔いておけば、いつかかならず芽が出るよいたねにはよい芽が悪い種子には悪い芽が忘れたところにちゃんと出てくる
《詩集『雨の日には雨のなかを』より》
風の日には風のなかを『より』

心が変われば
心が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、運命が変わる
《松井秀喜さんが高校時代の恩師山下監督から教わった言葉》

花の咲かない
寒い日は、
下へ下へと
根を伸ばせ



泥中の蓮華
蓮は泥池から茎を伸ばし、
清らかな花を咲かせます

環境も条件。ご縁です。環境によって人は変わる。道元禅師は『霧の中を行けば、覚えざるに衣しめる』また、『よき人に近づけば、覚えざるによき人となる』ともいわれ、自覚の有無ではなく、自然と身につくものがあると示されています。(正法眼蔵随聞記) 子は親の背中を見て育つとも言われますね。

出来れば恵まれたご縁の中で歩いていきたいものです。しかし時として自分では選べない環境、逆風の時もあります。向かい風、逆境に逆らいながら、その中でもしっかりと種を植えて地に根を張っていく生き方をしているか美しい花を咲かせよう。NHKの震災支援プロジェクトのテーマソングは『花は咲く』ですよね。



菩提とは何か？辞典によると悟りの智慧と表現されています。わかりやすいと心のやすらぎ(安心)ではないのでしょうか。幸せでみられた心。やすらいだ心の為。その為にはどうしたらよいのでしょうか？

お釈迦さま

お釈迦さまは衣食住の全て、様々な方々から布施を受け生活されていました。

ある時、農作業をしている人が田畑を耕しながらお釈迦さまに、『我々は額に汗して働いて田畑を耕して食の糧を得ているのにあなた方は労働をしないで食を求めるとは何事か』と問いただします。

お釈迦さまは『我々はあなたがたの心の田畑を耕しているのだ。心を耕し豊かな実りが得られるように』と答えられたと伝えられています。

田畑を耕して種を植え、水を与え、雑草を取り除き、豊かな実りを得る。

心の田畑を荒れたままにしないで、自然と生えてくる煩惱という雑草を除き、菩提の種を植え、水をあげるように日々を大切に過ごして安心という実りを得たいものです。

先日読んだ本に次のような方程式が載っていました。(『今を生きる僧侶の言葉』 築地本願寺&東京ビハーラ編)

『物(財)』÷『欲望』=『幸せ』

イギリスのある思想家の説く、上の式を作者は次のように文字を変えて示してくれました。

『思うようになって欲しいもの』÷『思うようにしたい心』=『楽(幸せ)』

『=』の後の値を大きくするには、分子を大きくするか、分母を小さくするかのどちらかしかありません。欧米文明は分子を大きくしようと努力してきましたが、分母もずいぶん大きくなったようです。東洋、とりわけ仏教の考え方は、分母を小さくすることでした。(同書 p106)

この分母である『おもいうようにしたい心』は、本当に自分の幸せを願っているのでしょうか。

夢や希望をもち、それに向かい努力する。人として成長するために必要なことです。

ただ、『思うようにしたい心』に振り回されて、いつも何か不足を感じて今を大切にすることを忘れてはいけませんよね。お釈迦さまは「たとえ貨幣の雨を降らせても欲望の満たされることはない(ダンマパダ186)」と示されています。せつかく頂いた命です。自分を幸せにしてあげましょう。

『きょう彼岸、菩提の種を蒔く日かな。』(古歌)

<p style="text-align: center;">無財の七施</p> <p style="text-align: center;">物ではなく心がけで出来る布施</p> <p>眼施(がんせ) 優しい眼差し</p> <p>言辞施(ごんじせ) 慈しみの言葉 挨拶</p> <p>心施(しんせ) まああるい心</p> <p>房舎施(ほうしゃせ) 人助け</p> <p>和顔悦色施(わがんえつじきせ) 微笑み笑顔を大切に</p> <p>身施(しんせ) 思いやりを心遣い</p> <p>床座施(しょうざせ) 座席の譲り合い</p>	<p style="text-align: center;">六波羅蜜</p> <p style="text-align: center;">古来より伝わるお彼岸の修行徳目</p> <p>布施(ふせ) 与えよう物でも心でも</p> <p>持戒(じかい) 生きよう 人間らしく</p> <p>忍辱(にんにく) 耐えよう どんなことにも</p> <p>精進(しょうじん) 努めよう 自分の仕事に</p> <p>禪定(ぜんじょう) 落ち着こう 息を整えて</p> <p>智慧(ちえ) 目覚めよう 仏の道に</p>
---	--

まだ悪の報いが熟しないあいだは、悪人でも幸運に会うことがある。
しかし悪の報いが熟したときには、悪人はわざわいに会う。

まだ善の報いが熟しないあいだは、善人でもわざわいに会うことがある。
しかし善の果報が熟したときには善人は幸福に会う。

お釈迦さまのお言葉 (ダンマパダ 119・120)